

おどろきの佐賀、ぞくぞく。

「島耕作」と「佐賀県」がコラボ!

県では、企業やコンテンツとのコラボレーションから生まれた情報や商品などを通じて、佐賀県の魅力を首都圏を中心に情報発信する「サガプライズ!プロジェクト」を2015年から展開中!今年度は、連載40周年を迎えた不朽の名作漫画「島耕作」とコラボして、佐賀県の魅力を発信します。

コラボ特設サイトはこちら



サガプライズ!

複製原画展も同時開催

副知事島耕作が漫画に!



副知事島耕作の執務室を大公開!



※イメージです

副知事 島耕作の執務室大公開展

期間 11月27日(月)~12月19日(火)
ところ 県庁クラス 旧知事室(県庁旧館2階)
時間 平日 9:00~18:00
土日祝 9:30~18:00

副知事島耕作

今、働くなら佐賀!

11月14日に島耕作氏が佐賀県副知事に就任。民間経験者の視点から、就職という切り口で、佐賀県についてお話を伺いました。

佐賀の印象をお聞かせください

島 「とにかく空が広くて、空気がうまいですね。東京だと、自然と触れ合うためにわざわざ遠くまで行かなくちゃならない。自然を感じながら日々生活できるなんて贅沢なことですよ」

副知事が就活していた頃はどんな時代でしたか

島 「私が就活したのはもう50年以上前ですね。当時は、高度経済成長期。

地方には仕事が少ない、多くの人材が住み慣れた町を離れ、都市に出て働くことで、日本の成長を支えていました。佐賀も他の地方と同じで、農業など家業を継ぐ長男以外は、県外に出ないと稼げない時代ですよ。だから「佐賀には仕事がない」「大都市に行かないと稼げない」という印象は、根深く残っているかもしれませんね」

佐賀の企業の印象は

島 「正直驚きました。その業界では一置かれるような、世界で活躍する企業がたくさんあるじゃないですか。「佐賀は人材不足」「仕事はあるのに人手が足りない」という嘆きを耳にしま

したが、もったいないですね。今や地方から世界につながる時代ですからね。佐賀でもっとの仕事をできることを、もっと県民の皆さんに知らせたいですね」



世界的企業に 選ばれる佐賀県!

世界的企業が続々と 佐賀県に進出

戦略的な企業誘致が新たな産業を生む

例えば 佐賀県は、半導体製造に必要な不可欠なシリコンウェーハ出荷額全国1位*。半導体関連企業を集積させ、日本の半導体産業を支える。*令和2年中の出荷額(表面研磨したもの):経済産業省「経済センサス-活動調査」

企業との 信頼関係構築を重視

検討から進出まで、手厚いサポート体制

例えば 佐賀県独自の「パーマナスタッフ」制度で、進出後も同じ県職員が窓口としてフォロー。



今や、仕事とプライベート
両方の充実を意識して
就職先を選ぶ時代。

県内には、子育てにやさしい、休みの日は趣味に没頭できるなど、ワークライフバランスを考えた企業がたくさんある!

取材協力 佐賀県副知事 島耕作

プロフィール/
76歳。1970年3月 早稲田大学法学部卒。新卒で初芝電器産業株式会社(現社名:TECOT)に入社し、その後、課長、部長、取締役、常務、専務、社長、会長を歴任。2022年に同社相談役を退任後、現在はUEMATSU塗装工業等の社外取締役を務める。2023年に佐賀県副知事に就任。



県外に出ないと仕事が多くなかった60年前とは様変わり。今や「人材不足の佐賀」に。

活躍の場は佐賀にある 多種多様な人材を求む!

DXの導入や、働き方改革で、業務負担の軽減や効率化が図られ、働きやすい環境づくりが進んでいます。また、県の補助など力強いサポートも。佐賀であなたの力を発揮してみませんか?

例えばこんな仕事!

機械オペレーター

DX化が進む建設業。ドローンや自動制御などの活用で、効率化&生産性アップ。

ホテル・旅館スタッフ

福利厚生がおもしろい!温泉入り放題や、こだわりの美味しいメニューがあるところも!

介護職員

見守り機器や介護ソフト導入などDX化が進む介護現場。働きやすい職場づくりに取り組む事業所が増えています。

保育士

保育士になるための修学資金の貸付けなどの補助金があります。*条件あり

介護の魅力発信サイト「さかケア」

